

広報よぎた

内容

- クリーンアップ・汚さないで……………2～3
- 村民体育大会……………4～5
- 村民野球大会……………6
- 幼稚園ネプタ・小学校安全教室……………7
- ほくたちの収穫祭……………8～9
- 話題の広場・慰霊祭……………10～11
- 成人式・長科すもう大会
- 保育所運動会……………12
- 郷土の歴史……………13
- ヤングメッセージ折々の歌……………14
- 折々の歌行政相談……………15
- 戸籍の窓口・村民文芸欄……………16

No. 151



第25回村民体育大会

7月
8月

昭和58年

8月7日午前9時30分蓬田村総合運動場において村民体育大会が開催されました。

快晴という好天に恵まれ、保育園児からお年寄りまで、1,500名が参加、各競技に熱戦を展開しました。

総合優勝は接戦となり最終種目の部落対抗リレーで優勝した阿弥陀川チームが獲得しました。

汚さないで！



●海のクゥーンアップ

私たちは古くから海や川から多くの恩恵を受けています。ところが、近年海や川が急速に汚れてきました。私たちの生活が近代化されてくることにより、生活排水のゴミや、プラスチック、ビニール、缶類、こわれた電気製品等が捨てられています。

私たちの陸奥湾はホタテ貝を中心とした沿岸漁業の豊庫です。私たちの手でかけがえない、ふるさとの海をいつまでも美しく保つため、海や川にゴミを捨てないようにしましょう。

●陸のクゥーンアップ

あなたはジュースやビールを飲んだ後空き缶をどうしていますか。一つ位と思ってポイと投げ捨てていませんか。

ところかまわず投げ捨てられた空き缶、特に道路沿いのおびただしい空き缶は、ドライバーのポイ捨てが大きな原因です。

私たちの蓬田村をより住みよい郷土にするため、ゴミの持ち帰り運動や地域の美化運動に対する村民の意識やモラルを高めたものです。

蓬田村子供会育成連絡協議会では、子供たちと世話人のお父さん、お母さんがいっしょになって、村内一斉クリーン作戦を展開しています。

連合婦人会、ボランティアスクールに参加した高校生は環境浄化を目指し、駅や公共施設等に花だんをつくりました。村内を花いっぱい心のなごむ村にし、村を訪れる人々を花で迎え、花で送る。そんな村にしたいという願いが込められています。





●ボランティアの大きな力

玉松台・玉松海水浴場が村内外の人でにぎわいます。しかし、人々の去った後にはゴミの山。この投げ捨てられた空き缶やゴミの後始末をしているのは、村の清掃事業もありますが、地域の婦人会や子供会、青年会、母親クラブ、老人クラブ、日赤奉仕団が大きな力となっています。家庭の中や地域全体で、ゴミを捨てない、捨てさせない、雰囲気づくりを育てていきましょう。



育 大 会



感謝状を受ける小鹿賢蔵さん



恒例となっている蓬田村民体育大会も二十五回目を数えることになりました。

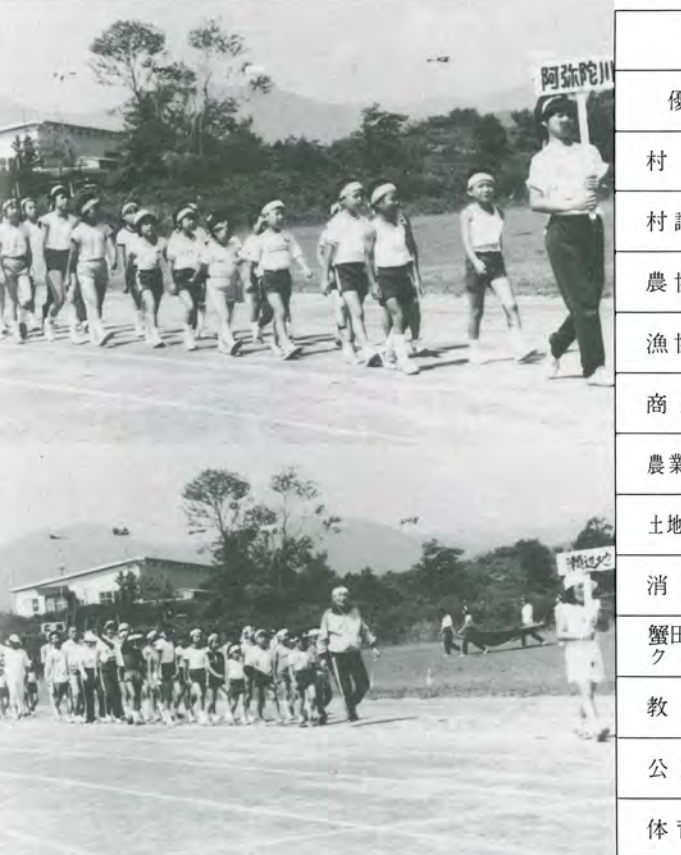
選手団入場の合図とともに、役員団を先頭に中沢部落から高根部落まで堂々の入場行進を行いました。

開会式終了後、準備体操で体をほぐし、熱戦の火ぶたを切りました。

各部落とも健脚ぞろいのため、各リレー種目、玉入れ、つな引きと熱戦を展開いたしました。

各種目とも接戦となり、総合優勝は、ぜひわがチームにと、部落総出で応援をくりひろげ、楽しい一日を過ごしました。

又、村民体育大会に役立てて下さいと、昭和五十二年より寄金をされている青森市に住む小鹿賢蔵さんに、蓬田村民体育協会会長より感謝状が贈られました。



成 績 表		
優 勝 杯	種 目	優 勝
村 長 杯	部落対抗リレー	阿弥陀川チーム
村議会議長杯	部落対抗つな引き	郷 沢 チーム
農協組合長杯	婦人団体競争	高 根 チーム
漁協組合長杯	青年団総合点	瀬 辺 地 チーム
商 工 会 長 杯	母親クラブリレー	阿弥陀川チーム
農業共済組合長杯	高校生リレー	瀬 辺 地 チーム
土地改良区理事長杯	職場対抗リレー	傘 松 チーム
消 防 団 長 杯	消防団員リレー	長 科 チーム
蟹田ライオンズクラブ杯	幼稚園児リレー	阿弥陀川チーム
教 育 長 杯	子供会リレー	蓬 田 チーム
公 民 館 長 杯	高齢者玉入れ	長 科 チーム
体育協会会長杯	成人リレー	長 科 チーム

第二十五回 蓬田村民体育大会

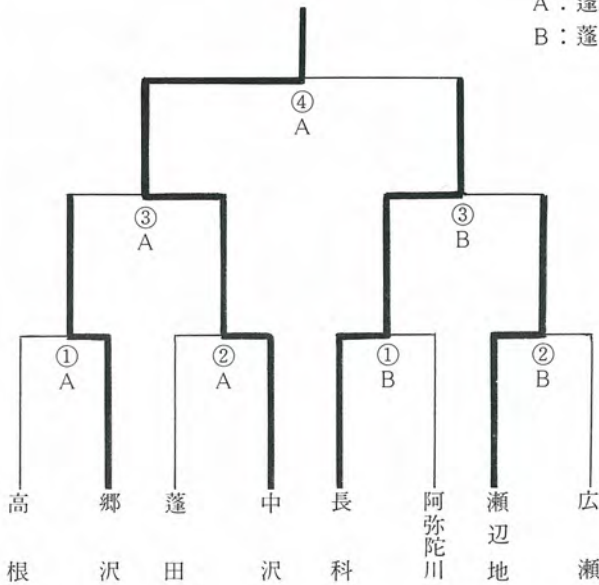
村民体育



村民野球大会

A：蓬田中グラウンド
B：蓬田小グラウンド

八月十四日午前八時三十分より蓬田中学校グラウンドで開会式を行ない、その後、小学校と中学校のグラウンドに分れて一回戦、準決勝戦を行ないました。好プレーあり、珍プレーありと賑やかななかにも熱戦をくりひろげました。決勝戦は、中沢と長科の対戦になりましたが、勝利の女神は中沢に微笑みました。



○一回戦
長科 4 — 1 阿弥陀川
瀬辺地 8 — 1 広瀬
郷沢 3 — 2 高根
中沢 9 — 1 蓬田

○準決勝戦
長科 13 — 4 瀬辺地
中沢 3 — 2 郷沢

○決勝戦
中沢 8 — 0 長科



蓬田小学校安全教室

子供のつとび出しによる交通事故が増えています。

このため、小学校では蟹田警察署のご協力により、七月十六日小学校のグラウンドにおいて交通安全教室を開催しました。人形を使つてのつとびだし事故のおそろしさ、大型車が左折するときの後輪によるまき込み事故について学びました。

つとび出し事故の実験は、時速四十時と時速六十時で走行中のジープに、バスの後ろからの飛び出しを想定して行なわれました。時速四十時のときは飛び出した人形を発見してから止まるまで約十時、時

速六十時のときは約十五時の距離が必要です。

特に時速六十時で走行中のジープに衝突した人形は首が取れてしまいました。

又、バスを使つて、交差点で大型車が左折するとき、前輪が通る位置より後輪が通る位置が歩道に近い所を通るので、後輪にまき込まれないように注意しなければならぬという事を学びました。

この後、児童会長の津島重樹君が「今日のことを忘れず、飛び出しは決してしません」と約束の言葉を力強く読み上げ終りました。



幼稚園のネブタ運行

ボクらの収穫祭

小学校いもほり、いも煮会

夏休みが終わった八月二十五日午前九時より全校でじゃがいも堀りを行いました。このじゃがいもは、小学校の近くの畑を借り、五月四日に植え付けたものです。午前九時に先生の注意を受けた後畑に集合し、まず畑に生えた草取りをしました。草取りの終わった班からじゃがいもを堀りました。いもが出てくるたびに、「オツ・キズ・アツタ」「マダデデキ

タ。」と歓声をあげていました。いもコンテストは、各班ごとに、重さ、数、大きさのどれに挑戦するか決定し、審査が行なわれました。重さは中沢北班、数は高根、大きさは郷沢北班が一位となりました。さっそく収穫したばかりのいもでいも煮会を行ない実りある一日を過ごしました。



いもコンテスト

部	落	総収穫量	数	量	特大いも(1コ)
中沢	南班		330コ		
	北班	28.6kg			
長科	南班			374g	
	北班		280コ		
阿弥陀川	南班	20.0kg			
	北班			374g	
蓬田	南班		246コ		
	北班		185コ		
郷沢	南班		243コ		
	北班			600g	
瀬辺地	南班		244コ		
	北班			372g	
広瀬	南班	11.8kg			
	北班	19.5kg			
高根			453コ		



蓬田村戦没者 慰霊祭を開催

8月19日午前10時より、玉松公民館において、昭和58年度蓬田村戦没者慰霊祭を開催しました。

遺族、来賓列席のもと、読経が流れ、蓬田村長の祭文奉呈、遺族会代表、青森県知事他来賓の祭詞奉呈が行なわれました。

村内有志婦人のご詠歌が流れる中、列席者全員で焼香し戦没者の冥福を祈りました。



20歳の 出たびだち発

8月14日、中央公民館で昭和58年度蓬田村成人式が行なわれました。

今年の対象者48人で26人が出席しました。村長、来賓のみなさんからお祝いのことばがあり、これに対し新成人を代表して越田祐悦さんが新成人の誓いを述べました。この日の記念講演は「成人に望むもの」と題して県立青森商業高校長奈良尹先生が行ないました。



新成人を紹介します

◆中沢

坂本東(清一)・名古屋孝文(竹五郎)・工藤美佐子(俊久)・山口武幸(竹松)

◆長科

藤本健(俊治)・長内ひとみ(みちえ)・藤本みどり(幸雄)・張間ゆかり(幸雄)・張間理花子(鉄男)

◆阿弥陀川

横山元春(博)・青木光子(英治)・倉谷里伊子(サヨ)・吉田望務(初男)・豊岡ひとみ(敬雄)・松本さき子(早苗)・八戸幸子(正栄)・森文子(繁春)

◆蓬田

細谷慶子(鉄三郎)・細谷浪子(清治)・細谷美栄子(真)・細谷玲子(平)・田中恵(基)・宮田徹(千春)・工藤寿尚(弘)・武井光明(胤夫)・中村聡子(良二)

◆郷沢

坂本浩之(惣之進)・中川久美子(亮一郎)・福田康則(富雄)・大宮貴子(國雄)・高田亮(敬一)・高田洋一(喜久男)

◆瀬辺地

田中聡志(博)・成田満(運市)・越田祐悦(悦夫)・久慈るみ子(チカ)・葛西あけみ(永吉)・工藤さとみ(總毅)・木村淳(智美)・久慈直樹(陸奥夫)

◆広瀬

佐井忍(清昭)・山口智昭(陸奥男)・柿崎直子(治五兵衛)・木浪三四五(久男)・久慈要(彰)

◆高根

佐井悟(一郎)
小野寺文子(正視)・稲葉谷子(幸治郎)



ノコッタ …長科すもう大会…

8月14日、長科部落では恒例のすもう大会を開催しました。稲荷神社境内で行なわれた大会は今年で4回を数え、出場チームは、青年会、振興組合、消防団、花の高校生の4チーム。3人1組でリーグ戦、個人戦はトーナメントで4人が勝ち残り、4人でリーグ戦を行ないました。団体の部は消防団、個人の部は坂本浩が優勝しました。

玉ねぎ初収穫

蓬田村農業青年経営者協議会(会長武井誠純他二十四名)は、休耕田を有効利用しようとタマネギの越冬栽培を試みました。収穫期を迎えた八月十日、会員の手により初収穫されました。

試作面積は一アールで、昨年の八月播種、十月に定植しこのたびの収穫となりました。品種は「松島交配ラッキー」で、成果は百六十八磊でした。土質のPHが高いことや、うね幅の狭い場所です玉が多かった点を反省し、次年は、①一般の畑と比較する②植え方を変えた場所を設ける③原価計算で採算性を検討することになっている。



蓬田村老人クラブ 連合会婦人部結成

蓬田村老人クラブ連合会では、会員の六割強を占める婦人会員に、より積極的に活動してもらおうと、このたび婦人部を組織し、八月四日玉松公民館において結成大会を開きました。

婦人部の活動として一、会員相互の親睦に関すること。余暇を十分に活用し、生きがいをつくり出していくことが大切であるということから、
●民謡や歌謡の練習
●おどりの練習
●料理など実技の講習
●研修旅行
などがあると思います。民謡や歌謡は、腹から声を出しますし、おどりは、姿勢を正し、体を動かすので、若返りの方法ともなります。実技の講習については、皆様のなかに非常に菓子づくりの上手な人がいます。研修旅行については説明の必要がないと思います。二、ねたきり、ひとりぐらし老人の友愛訪問に関すること
●ねたきり、ひとりぐらし老人の話し相手
●施設の老人の慰問
などが考えられます。老人クラブの出来事とか、最新の情報といったことを話してあげるこ

とにより孤独感が少しは緩和されますし、高齢者と地域社会との結び付きを強めることになり
ます。
三、社会奉仕活動に関すること
●雑巾づくり
●一円玉募金運動
●遊び場などの清掃
これらもまた地域社会との結びつきを強めることとなります。

四、健康の増進運動に関すること
厚生省の「国民健康調査」によりますと、四五歳ごろから高齢になるにつれて有病率が高くなります。
そして、病気の特徴として、
●高血圧、神経痛、心臓病、脳卒中、眼の病気、糖尿病などといった慢性的な病気が非常に多いということであり、
●そこで、体力づくりの面からは、
●ピクニック●歩け歩け運動
●ゲートボール
などが考えられますし、健康
管理の面からは、
●健康診査、成人病検診への参加
などが考えられると思います。

●定期的な血圧測定
などが考えられると思います。
婦人部の役員
部長 坂本清江(中沢)
副部長 赤平ヤチヨ(阿弥陀川)
久慈尤子(瀬辺地)
小鹿ウノコ(長科)
小松よね(蓬田)
渡部ハキエ(郷沢)
浜名シワ(広瀬)
稲葉ちな(高根)

蓬田保育所運動会 8・28



郷土の歴史

No.26

元龜二年(一五七二)、大浦右京亮為信は五月五日、突如兵をあげ、大仏ヶ鼻城を急襲した。

その後、次々と津軽の豪族や南部氏の諸城を攻め、配下に置いていくのである。

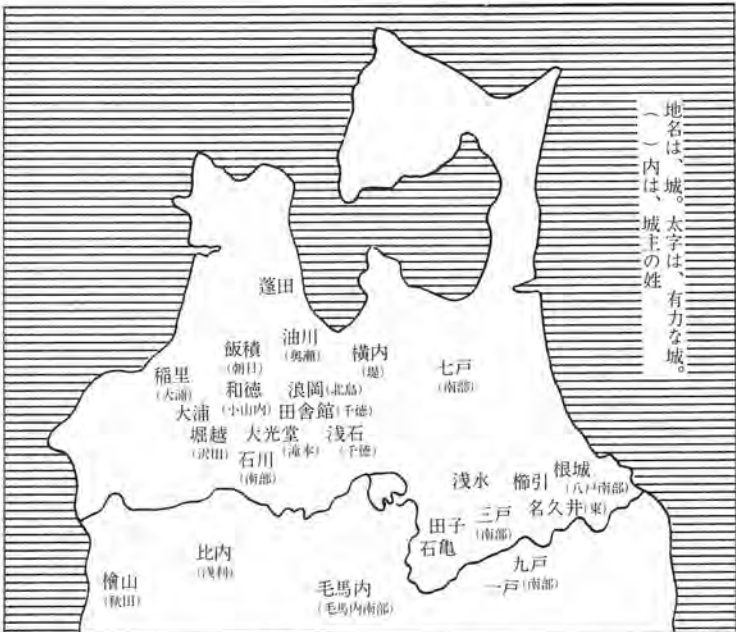
天正六年春三月、北畠顯範は病死した。顯範が亡くなると為信は兵二千三百余騎で、計略を用いて、一兵も損せず浪岡城を落城させたのである。天正十三年、三月二十六日には油川の奥瀬善九郎が戦わずして田名部へ逃げ、蓬田城主蓬田越前則政も油川落城を聞くと田名部へ落ち延びるのである。外ヶ浜を手に入れた為信は、これまで城、又は館があった所に約百石位の人を城番として置いた。油川には安倍牛之助を置き、横内には福士弥三郎を置いた。この外、城番は数名であったらしい。

天正十八年三月、大浦右京亮為信は小田原北条氏直征伐に出陣した豊臣秀吉に沼津で会い、津軽三郡領有の承認を得たのである。

- 南部氏一族と家人の城館
- 石川大仏ヶ鼻城 大光寺
 - 村城 浅瀬石村館 川原
 - 田村館 田舎館村館 猿
 - 賀村館 高島村館 和徳
 - 村館 下和徳村館 小湊
 - 垣上 横内村館(南部十二人屋形(館)城衆) 鼻和
 - 村館 町田村館 蒔苗村
 - 館 中畑村館 折笠村館
 - 高杉村館 独狐村館 志
 - 戸沢村館 桜庭村館 国
 - 吉村館 大秋村館 村市
 - 村館
 - 大浦氏一門と配下の城館
 - 大浦村城 藤崎村城 堀
 - 越村館 兼平村館 西一
 - 町田村館 小沢村館 金
 - 山村館
 - 北畠氏一族と家人の城館
 - 浪岡村城 浪岡村城内源
 - 常館 滝井村館 本宮村
 - 館 強清水村館 饗沢村
 - 館 杉銀村館 大釈迦村
 - 館 宮館村館 原子村館
 - 飯積村ノ山城 今別村館
 - 地侍たちの館
 - 石名坂村館 毛内館 袋
 - 村館 中野不動館 築館
 - 村館 黒石村館 八反田
 - 村館 垂柳村館 和泉村

- 館 新屋村館 広船村館
- 沖館村館 乳井村館
- 石川村館 三日内村館
- 唐牛村館 浪岡領吉内館
- 葛原村館 上新岡村館
- 下新岡村館 藤代村館
- 船水村館 篠森村館
- 下ノ切神山村館 七ツ館
- 村館 金木村館 種里村
- 山上館 浮田村館 深浦
- 村館 長平村館 笹内館
- 油川村館 新城村館
- 蓬田村館 二本柳村館

南部家人のうち、南部十二人屋形城衆とあるのは、文明年中(永正年中(一四七〇)一五二〇)に、津軽支配役として派遣された武将の子孫である。国吉の関氏が城代大将分とされているが、為信時代には、ほとんど地侍化して、大浦氏とよしみを通じていた。



戦国群雄勢力図 津軽・南部・秋田
原図作成・荒井清明



ヤング
メッセージ
No.31 坂本 浩行
中 沢

私が青年団に入り、早いもので、もう3年が過ぎました。はじめのころは、スポーツが目的で入ったので、あまり青年団活動のほうには興味がありませんでした。しかし、1年中スポーツばかりやっていくわけではないので、その内にもだんだん青年団活動のほうにも目をむけるようになってきました。そして少し青年団というものがわかりかけてきました。先ばい達のやり

方がいやで一時やめようと思いましたが、そのころはもう青年団のおもしろみも少しわかりかけていたし、スポーツもつづけたかったし、何かはなれがたいものがあつたのでその場は思いとどまりました。それがきっかけでこんどは逆にもっと強く興味をもつようになり、単位団だけでなく、協議会や郡団、県団のほうにも目を向けるようになりました。そのせいか今度は役を



談話室

あたえられるようになり、自分でも又、やってみようという気になっていました。そして今、私は青年大会という大きな行事の実行委員になっています。青年団活動は、時には楽しくもあり、又、苦しくもありますが、まあなんとかやっています。しかし今、やる気のある青年団員の減少又、会社づとめの青年団員の増加により思うように活動出来ない状態です。私もこの先自分自身どうなるのかわかりませんが、出来るだけ活動をつづけて行きたいと思っています。



折々の歌

△日本海中部地震の稲田の面

黒ぐろと波涌き立つ騒ぐ

△激震のゆさぶる峡の水田は

土になづみし苗浮くあはれ

△激震に隆起するがに揺らぎ立つ

畦に縋りて鎮りを待つ

△震災の修復なりし玉松の

墓標は哀れその傷光る

△老どちの心をこめめて草刈りし

玉松台の墓地の明るし

△墓地めぐる為事終へる老吾ら

ゲートボールにひととき励む

(以上六首 吉崎慶次郎作)

暮らしの中で行政に

意見
に対する苦情はありま
要望

せんか？

行政管理庁では、行政相談制度について広く皆様方のご理解と認識を深めていただくため、全国一斉に来たる十月十六日(日)から二十二日(土)までを「行政相談週間」と定め、この間いろいろの行事を実施いたします。

皆様方が常日ごろいदैいておられる役所の仕事に関して、
○お困りになってのこと
○納得のいかないこと
○希望したいこと
などについて「無料」で「迅速」に、しかも「秘密」を守り、親身に相談に応じます。
この週間中も当地域担当の行政相談委員の方が相談に応じますのでお気軽にお申出下さい。

行政相談委員

○住所 蓬田村大字蓬田字 汐越七一番地の七

○氏名 室谷 清

○電話 二二二一〇

なお、行政相談委員の方は、次の場所で行政相談所を開きますので、お気軽にお出かけ下さい。

相談所の日時、場所

○日時 十月二十日(木)
午前九時～午後四時

○場所 蓬田村中央公民館

行政相談とは……年金、登記、社会保険、労働保険、生活保護、道路、公害、教育、国鉄、電電、公庫、公団等の業務についての相談です。

蓬田村のシンボル 「花」「鳥」「木」の名称 募集のお知らせ

このたび村を象徴するにふさわしく、村民に親しまれる「村の花」「村の鳥」「村の木」を制定するため、左記要綱により広く一般募集することになりましたので、村民各位の多数の応募をお待ち申し上げます。

記

一、応募方法

イ 官製ハガキ又は封書により花、鳥、木の名称及び説明をそれぞれ書き、住所、氏名、年令を明記し投函する。

ロ 花、鳥、木の三点で一組とする。

ハ 蓬田村地域環境にしたしまれるものであること。

一、あてさき

郵便番号 〇三〇一一二

東津軽郡蓬田村大字蓬田字

汐越一の三

蓬田村役場 総務課

三、締切年月日

昭和五十八年十月二十日

(当日消印有効)

四、決定の方法

イ 学識経験者を含む制定審査委員会で審査し決定する。

ロ 審査決定した名称に応募した方が多数の場合

は抽選で一名を決定し

賞金一〇、〇〇〇円と

賞状を差し上げます。

○ 不明な点がありましたら

蓬田村役場総務課へお問い

合わせ下さい。

電話 二二二一番へ

村営住宅入居者 募集

詳細は土木建設課へ

折々の歌

ふりむけば背に吹く風の透き透き
音もなくいる秋におどろく

真青なる空の深さに揺れていて
心いざなふ丘の穂すすき

さし入りて畳を移る午後の日を
卓に見てをりすでに秋のいろ

訂正

誤
思はざる伏兵にあいしと我が論理
崩れるときあり子と対い居て

正
思はざる伏兵にあいしと我が論理
崩れるときあり子と対い居て

戸籍の窓



(蓬田村の人口：4,471人)

5月・6月受付分

◎お誕生日おめでとうございます

- 工藤 幸樹 (光雄・2男)
- 工藤真佐子 (博・長女)
- 倉谷 光景 (弘孝・2男)
- 三上 裕子 (昭雄・長女)
- 木村 一徹 (誠逸・2男)
- 三上 陽子 (春逸・3女)
- 木戸 忍 (芳勝・長女)
- 乳井加寿美 (幸夫・2女)
- 坂本 勇士 (勇一・3男)
- 小鹿恵理子 (正明・長女)
- 工藤 理沙 (順勝・長女)
- 張間 昭夫 (市郎・3男)
- 工藤 俊介 (徳元・長男) 2月受付分
- 小鹿 友資 (博文・長男) ♪

◎ご結婚おめでとうございます

- (小倉 利治 (蟹田町)
- (八戸 君枝 (阿弥陀川)
- (木戸 明彦 (瀬辺地)
- (福井 厚子 (平館村)
- (尼野 通 (山口県)
- (青木美穂子 (阿弥陀川)
- (我満真志次 (青森市)
- (越田 礼子 (瀬辺地)
- (高田 健悦 (郷沢)
- (工藤 千春 (五所川原市)
- (八戸 正春 (阿弥陀川)
- (濱田 季子 (平館村)
- (工藤 昭治 (青森市)
- (藤本 町子 (長科)
- (村元 敏雄 (青森市)
- (山館 縫子 (瀬辺地)
- (石山辰志郎 (広瀬)
- (村上 洋美 (長科)
- (藤本 眞 (長科)
- (坂本 清子 (青森市)
- (鈴木 壽昭 (蟹田町)
- (飯田 道子 (瀬辺地)
- (川内 章三 (阿弥陀川)
- (畑中 恵美 (京都市)
- (小杉 利雄 (東京都)
- (佐々木れい子 (蓬田)
- (細谷 正宏 (蓬田)
- (飯塚 玲子 (秋田県)
- (荒内亮治郎 (平内町)
- (山館ミユキ (瀬辺地)
- (坂本 浩 (長科)
- (熊谷 貴美 (青森市)

村民文芸欄

川柳

梅雨明けの照る日チャンスと夜具を干す

四度目の凶作回避懸命に

鮭の稚魚大海目指し旅に出る

穂孕期迎えて稲は低成長

アルバムをめぐって昔し懐かしみ

(以上五作 吉崎勝三郎作)

先号の村民文芸欄に誤字がありましたので訂正します。

誤 鐘供(用)善男善女押し寄せる

正 鐘供(養)善男善女押し寄せる

あとがき

ようやく暑い日が続いた八月、各地で夏の行事が続きました。村民体育大会、村民野球大会、子供会ネプタ運行、その他、一時姿を消していたすもう大会等。これらが終るともう秋の気配がただよってくる訳ですが、今年は厳しい残暑が続き、生育の遅れていた稲もかなり回復、農作業をする人たちにも笑顔がもどってきました。三年続きの冷害、今年こそ実りの秋を。

◎お悔やみ申し上げます

- (木戸 力 (瀬辺地・16歳)
- (越田 かし (瀬辺地・88歳)
- (久慈フミエ (高根・66歳)
- (芳賀 長七 (蓬田・65歳)
- (張間仁三郎 (長科・85歳)
- (田中 ナヲ (広瀬・71歳)
- (國頭 正人 (鳥取県)
- (八戸 正子 (阿弥陀川)
- (柿崎 裕二 (広瀬)
- (佐野 福美 (山梨県)
- (小野 仁 (弘前市)
- (中川田鶴子 (郷沢)
- (山本 光秀 (蓬田)
- (井上 睦子 (青森市)
- (山田 英二 (青森市)
- (佐井 俊子 (広瀬)